

高山市新型コロナウイルス総合窓口の対応状況について

1. 受付状況について

※上段：4/16～12/15 8か月間 下段：《 12/1～12/15 11日間 》

①対応件数 延べ10,150件（1日平均55件）
 《 88件（1日平均8件） 》

*うち、窓口4,912件(48%)、電話4,809件(48%)、メール107件(1%)、資料交付322件(3%)

《 窓口58件(66%)、電話28件(32%)、メール2件(2%) 》

[資料交付:県休業要請に対する協力金関係資料を渡すのみの対応]

②相談等項目別集計 延べ11,586件（1日平均63件）
 《 107件（1日平均10件） 》

区分	主な内容	件数（割合）	
事業者向け 給付・助成	県:休業要請に対する協力金（資料交付含む）	953(8%) 《0(0%)》	4,429 (38%) 《63 (59%)》
	市:家賃等に対する助成など	2,790(24%) 《47(44%)》	
	国:持続化給付金、家賃支援給付金など	686(6%) 《16(15%)》	
事業者向け融資	セーフティーネット保証認定、利子・保証料補給	1,121 (10%) 《2 (2%)》	
納付猶予・減免	市税、国民健康(介護)保険料、上下水道料	502 (4%) 《8 (7%)》	
個人向け給付	市:特別定額給付金、子育て世帯応援給付金	3,420(30%) 《1(1%)》	3,448 (30%) 《4 (4%)》
	国:休業支援金・給付金	28(0%) 《3(3%)》	
事業者の 雇用継続	雇用調整助成金	224 (2%) 《4 (4%)》	
個人向け貸付	緊急小口資金、福祉金庫資金	196 (2%) 《5 (5%)》	
市内消費喚起	プレミアム付き商品券、市内宿泊施設利用助成	819 (7%) 《0 (0%)》	
その他	感染拡大防止、支援等の要望、市営住宅関係など	847 (7%) 《21 (19%)》	
合計		11,586 (100%) 《107 (100%)》	

※複数の相談を受けた場合、それぞれに計上

③傾向や特徴

<事業者関連>

- ・ 1 2 月上半期の事業者向け給付・助成に関する対応件数は 6 3 件 (59%) で、相談区分の中で最も件数が多くなっている。
- ・ 相談内容としては、市の事業者向けの助成に関するものが 4 7 件と大半を占め、感染防止おもてなし補助金（旧観光振興事業補助金）が 2 9 件と最も多く、次いで商業機能持続化補助金（家賃・テナント料への助成）が 1 1 件、新ビジネス創出応援補助金が 5 件となっている。
- ・ 申請書類の提出や対象経費の可否に関する問い合わせのほか、補助金の交付を受けた事業者が他の補助制度について制度内容や対象経費などを問い合わせるケースがある。

<個人、労働者関連>

- ・ 当面の生活資金を確保するための緊急小口資金貸付などについては、1 2 月上半期は 5 件となった。
- ・ 緊急小口資金貸付制度利用後の更なる支援策について、相談があった。

<その他>

- ・ 市内感染者の発表以降は、発熱がある方の相談や、事業者からの従業員を自宅待機させるべきかなどの相談が複数件あった。

問 合 先	
担当課	新型コロナウイルス総合窓口 (企画部 企画課)
課長	北村 幸治
係長	前田 研治 担当 小椋 直
連絡先	電話 (直通 0577-36-0024) (内線 2097)